

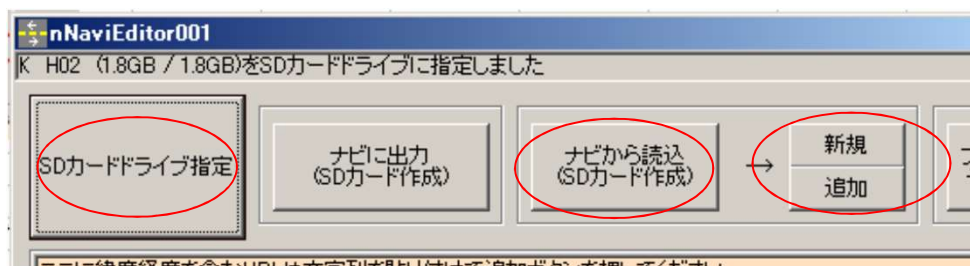
エンプレイス製のメモリ内蔵型ナビの地点編集などができます。  
当ソフトを使用し、空きmicroSDカードに地点データ読出用、書込用のソフトを書き込みます。  
そのmicroSDカードをナビに差込み、地点データを読み出しや書き込みをする仕組みです。  
エンプレスの2023年製までのメモリ内蔵型ナビで動作することを確認していますが、ナビの内蔵メモリのユーザー地点登録ファイルを操作しますので、確認していない機種の場合や想定外の操作があった場合故障する可能性もありますが、責任を負うことができません。  
マップコードや、ゴリラ／ストラダ(CN-E205D)用の.poiファイルを出力することもできます。  
このソフトはVB6.0で作成しているため、SETUP.EXEの実行が必要になります。  
※ナビの自宅と会社の設定があると誤動作するため、読み込みできません。また書き込み時自宅と会社があれば(PC)が付け足されます。

- 1、解凍したフォルダの¥nNaviEditor\¥nNaviEditor.exe を起動します。  
エラー「コンポーネントCOMDLG32OCX、またはその依存関係のひとつが適切に登録されていません。」等エラーが出た場合は、setupフォルダのSETUP.EXEを実行します。
- ・変更を加えることを許可しますか→はい
  - ・project1のセットアップを始めます→OK
  - ・セットアップを開始するには次のボタンをクリックしてください。→クリックする
  - ・バージョンの競合エラーが出たら→すべて無視を選択
- SETUP.EXEでインストールしたものではなく、nNaviEditorフォルダのnNaviEditor.exeを実行してください。

#### ※アンインストールするとき

- ・windows10スタートメニューの設定を選ぶ
- ・アプリを選ぶ
- ・project1 (インストールした日付のものか確認します)を選ぶ
- ・アンインストールボタンを押す
- ・メッセージが出たら、すべて削除を押す
- ・nNaviEditorフォルダごと削除する(保存したデータも削除されます)

## 2、エンプレイス製のメモリ内蔵型ナビの地点データ読み出し方法

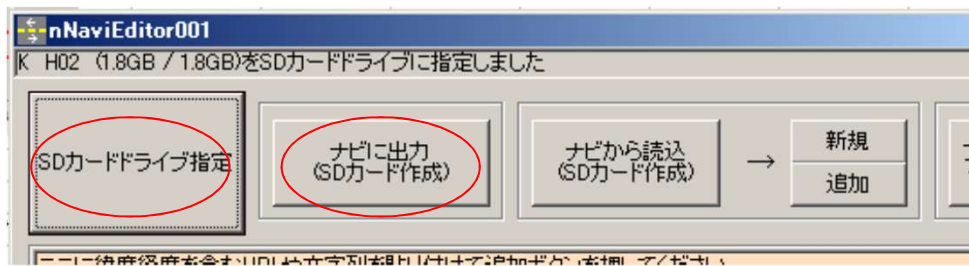


空きmicroSDカードを用意し、[SDカードドライブ指定]ボタンを押し指定します。  
ドライブを指定できると、ボタン操作が有効になります。  
[ナビから読込]ボタンをおすと、ナビから地点データを読み込むためのSDカードが作成されます。

次に、ナビがメニュー画面の状態、作成したmicroSDカードを差し込みます。  
しばらく待ちますと、確認ボックスが出てきますので、右上のOKをタップするとmicroSDカードにナビの地点登録データがmicroSDに保存されます。

そのmicroSDカードを再びPCにセットして、新規または追加ボタンを押すと現在のタブに地点データが読み込まれます。

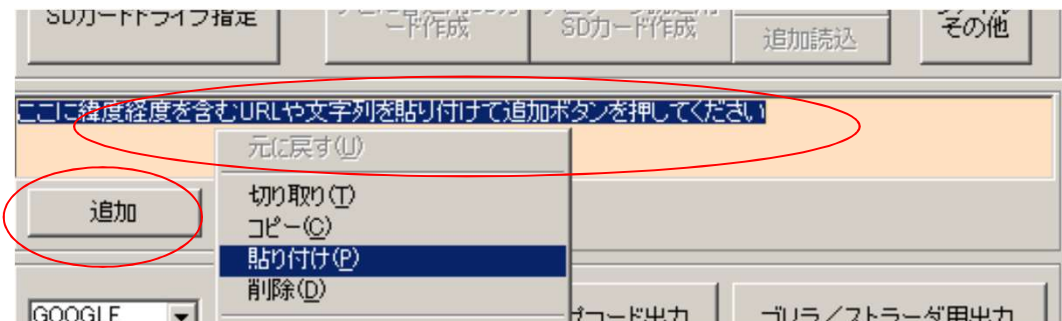
### 3、エンブレイス製のメモリ内蔵型ナビの地点データ書き込み方法



空きmicroSDカードを用意し、[SDカードドライブ指定]ボタンを押し指定します。  
ドライブを指定することができると、ボタン操作が有効になります。  
[ナビ出力]ボタンをおすと、現在表示されているタブの地点データを  
ナビに書き込むためのSDカードが作成されます。

ナビがメニュー画面の状態では、作成したmicroSDカードを差し込みます。  
しばらく待ちますと、確認ボックスが出てきますので、地点データを書き込む場合は右上のOKを  
タップします。  
書き込みを中止する場合は、そのまま電源ボタンを長押しして電源を切ります。

### 4、GOOGLEマップなどWEB地図からの地点取り込み方法



この部分に緯度経度を含むURLや文字列を貼り付けます。  
googleマップの場合は、登録したい地点で右クリックしますと、緯度経度表示がでます。  
それを左クリックしますと、「クリップボードに保存しました」と出ますので、その状態で  
ボックス内に貼り付けます。  
その後、追加ボタンを押すと、表示されているタブに地点データが取り込まれます。

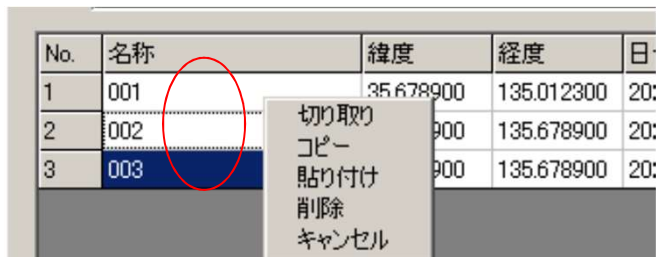
5、タブの操作方法（各操作完了と同時に保存されます）



操作するタブの上で右クリックすると、タブの名前をつけたり、タブ全体を消去することができます。

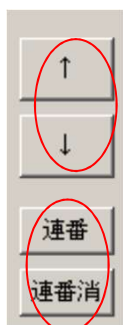


操作したい地点を右クリックします。6進数表記の緯度経度がポップアップされます。



操作したい地点で右クリックすると、地点データの操作ができます。別のタブへ貼り付けや移動ができます。

マウスの操作や、shiftを押しながらクリックし選択することで複数行まとめて操作することができます。



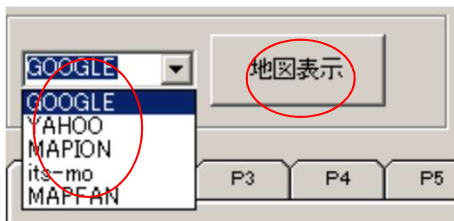
選択したデータをまとめて上下移動させることができます。

名称の先頭に連番をつけることができます。  
つけた連番を消去することができます。  
※先頭が数値の名称の場合、先頭数値部分も消えてしまいます。



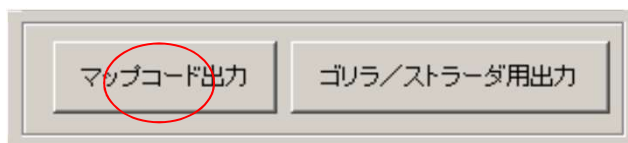
右クリックメニューの削除と同じ動作です。

## 6、タブに表示された地点をWEB地図に表示する場合



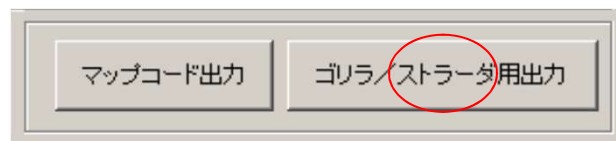
表示したい地図を選び、地図表示ボタンを押すと、ブラウザに地図が表示されます。  
firefoxで動作確認をしています。

## 7、マップコード出力について



マップコード出力をおすと、表示されているタブの地点データがマピオンに送信されて  
マップコードを取得し表示します。  
セキュリティソフトでブロックされると思いますので、それぞれの対応が必要です。  
マップコードが取得できない場合はERRと表示されます。

## 8、ゴリラ/ストラダ用出力について



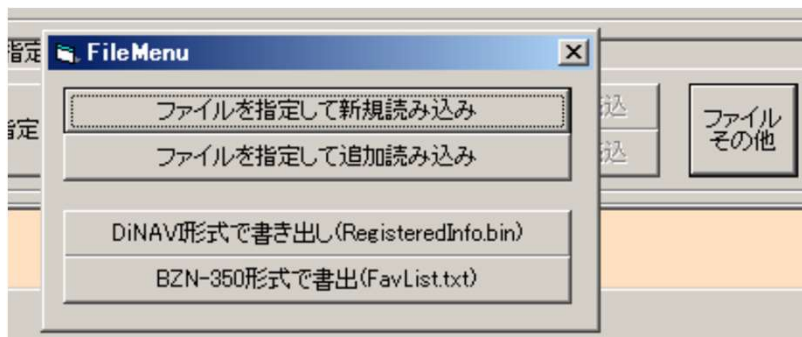
ゴリラ/ストラダ用出力をおすと、現在表示されている地点データを.poi形式で出力することが  
できます。ゴリラやストラダに差し込むメモリーカードに DRIVE というフォルダを作成して、そこに  
保存します。

CN-E205Dのみ確認済みです。

CN-E205Dの場合、情報メニューのSD地点取り込みをタッチして取り込みます。

その場合フォルダを指定して取り込めば、不要になったときに消去しやすいです。

## 9、ファイルその他の操作について



エンブレイス製の地図データが外付けmicroSDカードの古いナビの場合はこのメニューを選んで  
直接地図データmicorSDカードを操作することができます。

保存されている場所とファイル名は ¥NAVI¥User\_Japan¥RegisteredInfo.bin です。

連絡先: stbin37832@gmail.com  
取り扱い種別: フリーソフト  
動作環境: windowsXP～windows10、エンプレイス カーナビ